

会議議事録（要旨）

1 会議名	令和4年度 第3回 長岡市地域公共交通協議会
2 開催日時	令和4年10月21日(金曜日) 午前10時00分から
3 開催場所	フェニックス大手イーストまちなかキャンパス 3階 301会議室
4 出席者名	若月会長、佐野副会長、中山(謙)委員(代理:佐山様)、小川委員、田中委員、松木委員、中川委員(代理:大石様)、山本委員、中山(精)委員(代理:鈴木様)、島谷委員、小林委員 【欠席】吉田委員、高橋委員、瀧澤委員、玉巻委員、高木委員
5 協議事項	(1) 長岡市地域公共交通計画策定について <ul style="list-style-type: none"> ・基本方針の設定 ・計画目標の設定 ・交通施策・事業の検討
6 協議結果の概要	・協議事項(1)について、地域公共交通計画の施策・事業案を確認し、特に大きな指摘はなかった。
7 審議の内容	
【協議事項】	(1) 長岡市地域公共交通計画策定について <ul style="list-style-type: none"> ・基本方針の設定 ・計画目標の設定
事務局	資料に基づき、協議事項(1)基本方針の設定および計画目標の設定について説明。 (以下、質疑応答)
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車から公共交通へ転換とあるが、どの程度想定しているのか。 ・参考指標について、パーセントと同時に具体的な利用者数も示すとバスの利用状況等が理解しやすいと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車から公共交通への転換をどの程度想定しているかについて、目標値を示すことは難しいと考えているが、今後公共交通を維持していくためには、1人でも多くの方から利用してもらうことが重要であると考えている。そのような意味で今回記載をしており、公共交通網の現状を踏まえると転換が難しい部分もあるが、できる部分の取り組みを記載している。 ・参考指標について、公共交通の利用者数は事業者含め把握することが可能であるため、記載したいと考えている。

副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・7ページについて目標が①から④まであって、評価指標が①から④までであるが、対応しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・対応していない。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの目標をそれぞれ達成できているか評価したほうがよいと思う。そのように考えると、目標③の評価指標がないように思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・おっしゃる通りである。指標の構成については改めて整理し、次回協議会で示したいと思う。
【協議事項】	<p>(1) 長岡市地域公共交通計画策定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通施策・事業の検討
事務局	資料に基づき、協議事項(1)交通施策・事業の検討について説明。 (以下、質疑応答)
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・施策1の基幹路線の図について、分かりにくい図となっており、実態と合っているか考えてほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用の促進についてバスの運転体験があるが、ある程度大きくなってからではなく、親子を対象としたバス運転体験も考えていただき、長い期間で将来運転士を目指したいと思う人材を育てていくこともよいのではないかと感じた。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・人材確保をするため、自社独自の制度を設けている。二種免許を取得する際にかかる経費を会社が負担し、入社後、自動車学校に通いながら会社に勤務する制度を設けている。また、高校卒業後2年の猶予をもって運転士職に切り替わるという運転士を前提とした制度も設けている。今年は1名入社した。 ・小さい子供に興味を持ってもらう機会は大切であると考えている。運転やバスに愛着を持ってもらい、その後の人材確保につながっていくと思うので、その点はアイデアをいただきながら進めていきたいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事業4-1の「さまざまな輸送資源の活用」について、以前ある地域から、これから免許を返納した場合、移動が大変であるので何とかしてほしいという申し出があった。それも踏まえ、私は「週1回ジャンボタクシーを出すから町内会で(利用者を)まとめて

事務局	<p>ほしい」と伝えた。スーパーまで送り、買い物が終わるころの1、2時間後に迎えに行き、家まで送るような形を想定しており、ぜひ実証実験をやってみたいと考えている。町内で利用者をまとめてもらえるようなキーパーソンがいるからこそできる内容であるが、利用者や地域等が労力を負担するなど、お互いが支え合うことが重要であると考えており、タクシーも生き残る施策のひとつではないかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自家用有償運送について、自家用の福祉有償運送も移動支援という意味では同じ括りであるため、関わることができるのかどうか含めて検討してほしい。 ・人材確保について、東京のタクシー会社であれば、大学生でも多くの採用があるが、新潟県のタクシー会社は体力も気力もないので難しい。今後は実態に合わせた人材確保をどうするか本気になって考えなければ、タクシー会社がなくなる可能性がある。3人で2台の車を回すのが理想と言われている中で、現状は車両の保有台数と同等の労働力となっており、人材不足が深刻化している。また、行政や金融機関にも会社の存続を支えてもらっているのが現状である。 ・買い物支援の実証実験について、既存の公共交通だけではカバーできないところもあるので、実証実験や事業者の意見も踏まえながら検討を進めていきたいと考えている。 ・運転士の確保について、厳しい現状の中で、我々としてもできることは多くはないが、事業者からの意見も聞きながら支援していきたいと考えている。 ・福祉有償運送について、福祉保健部で協議会組織を設けており、我々も参加して意見等を聞いているが、福祉有償運送の利用者は多くはない。こういった形で進められるかについては、今後も情報を聞きながら検討・支援したいと考えている。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道について、越後線で何か実施してもよいのではないかと思った。 ・インバウンドや二次交通の事業がないと感じた。例えば、マッチングアプリでこういうツアーがしたいと考えている人とそのガイドを受ける仕組みがあり、東京だと電車で移動することが多く一般の人でもできる。一方で田舎だと車で移動することになり、ツアー料金をもらおうと白タクのようになってしまい、できない状況となっている。そのため、タクシードライバーがツアーガイドをするといったような方法もあると思う。三条タクシーの取り組み

<p>委員</p>	<p>のようになるのは難しいかもしれないが、そのような取り組みがあれば人材の確保に向けてひとつのきっかけになると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン等を活用した情報提供について、高齢者は情報提供されただけでは使いこなせないので、高齢者が集まる機会に説明会や体験会を実施してはどうか。 ・合わせて事業者の取り組み状況やヘルプマークも掲示するだけでなく、実際に出向いて説明することで身に付くと思う。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の利用に向けて、説明や実体験は必要であると考えている。事業者と連携しながら取り組んでいきたいと考えている。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バス待ち環境の改善について、これまでも利用が多いバス停を中心に上屋を設置したり、町内会の依頼があった際は、長岡市とともに支援しながら設置するなど整備を進めてきた。最近では、徐々に路線バスから代替交通に変わる地域が増えている。これらの場所では結節点を設け、路線バスと代替交通の乗り換えが必要となるため、その際の待合環境が悪いと利用につながらないと想定される。そのため、今後進められる代替交通への切り替えの際の結節点の上屋整備のほか、既存施設を利用した待合場所をご検討いただきたい。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おっしゃる通り、結節点としての利用が考えられるバス停についても整備を検討していく。内容は計画にも記載し、事業者と協力しながら検討を進めていきたいと考えている。
<p>副会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・結節点は重要であるため、強化してもらいたいと思う。バス停だけでなく、コンビニ等のスペースを少し借りるなど施設の活用も考えられると思う。また、乗り継ぎやすくするための運賃施策も考えるとよいと思う。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のイベントを実施するなかで、イベント会場までどう移動するか課題となっている。今は自家用車の乗り合いで移動できていても、高齢化が進んでくるとそれもできなくなることが想定される。イベント開催時における新たな移動手段について、皆さまに情報提供できるようなことをしたいと考えているとともに、皆さまからも情報提供していただければと思う。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本日欠席の委員よりご意見を頂戴しているので紹介する。利用促

<p>副会長</p> <p>事務局</p>	<p>進について、「公共交通の路線がつながっているエリアで開催されるイベントや季節ごとの観光をPRする際に公共交通機関の利用を推奨してはどうか。」また、「長岡市内だけでなく、公共交通で結ばれている柏崎市や小千谷市、見附市、出雲崎町等の市外と連携して利用促進を図ってはどうか。」以上、2点のご意見を頂戴した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お酒があるイベントでは公共交通の利用を促しているものの、その他のイベントでは公共交通に関する記載がないこともある。イベントと交通は関連が深いため、今後イベントの際に公共交通の利用を促すPRができるよう相談していきたいと考えている。 ・長岡駅から市外へ伸びている路線もある中で、自治体と意見交換をしながら進めていきたいと考えている。 <p>・越後線などぜひお願いしたいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越後線を含め、具体的な動きはすぐにはないものの、鉄道会社からは現状を説明頂き、どういう形であるべきか今後意見交換を進めていくという話を頂戴した。引き続き鉄道会社と意見交換を進めていきたいと思う。 ・越後線の利用については、主な行き先が柏崎市や新潟市であり、生活圏がやや異なっている場所ではあるが、高校生の利用もあり、こうした状況も踏まえながら対応していきたいと考えている。また、市議会でも利用促進等を図りたいという意見もあり、地域からそのような要望もあれば協力していきたいと思う。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の長岡まつりにおいてタクシーの台数が少ないなど、ご迷惑をおかけしお詫び申し上げます。しかしながら、売り上げについては大花火大会を中止していた年と比べると、大きく増えた。 ・ワクチン接種における送迎について、長岡市の協力もあり、高齢者の移動支援としてタクシーを多く利用していただくことができ良かったと思う。感謝申し上げます。 ・糸魚川市において定額運賃タクシーの実証実験を実施するという話があり関心を持っている。2.5km以内の範囲で月額料金を支払うことで乗り放題となる。これにより回遊性が生まれ、高齢者の移動支援への寄与が考えられるため、県や市の補助金も活用しながら今後できるのかどうか検討したいと考えている。 ・タクシー業界においても観光・インバウンド問題に取り組まなければいけないと認識している。長岡市には、鉄道会社とコンベンション協会が連携した「駅から観タクン」というちょいのり観光

<p>【その他】</p> <p>事務局</p>	<p>に対応したものがあり、定着はしつつも大きな利用者数とはなっていないのが現状である。例えば、京都の修学旅行のタクシー利用といった施策のように新たな仕掛けも必要ではないかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none">・今後のスケジュールについて・次回協議会は、11月22日（火）を予定している。
-------------------------	---

■ 協議会の様子

